

ウスイロバイ 移殖について

佐 多 忠 夫

ウスイロバイ *Babyronia kiranah* は、新腹足目 Order Nogastrópoda エゾバイ科 Family Baccinidae に属する巻貝の一種である。

沖縄において、本種は太平洋側の中城湾、金武湾に生息しており、漁業者によるとその産卵期は4月～8月で6月がピークである。また本種は東シナ海側では生息が確認されていない。

今回は、ウスイロバイの生息が確認されていない糸満海域（東シナ海側）でウスイロバイが生息し、繁殖することができるかどうか知るため移殖を行なった。尚、この移殖は糸満漁業協同組合が主体となって実施された。

移殖方法

与那原で漁獲されたウスイロバイ約30kg 2,652個体を10個のかごに分散させ（図1）、1984年5月15日に糸満新港内に飼育施設を設置し、同年5月28日にエーギナ島海域にその施設を移動した（図2）。

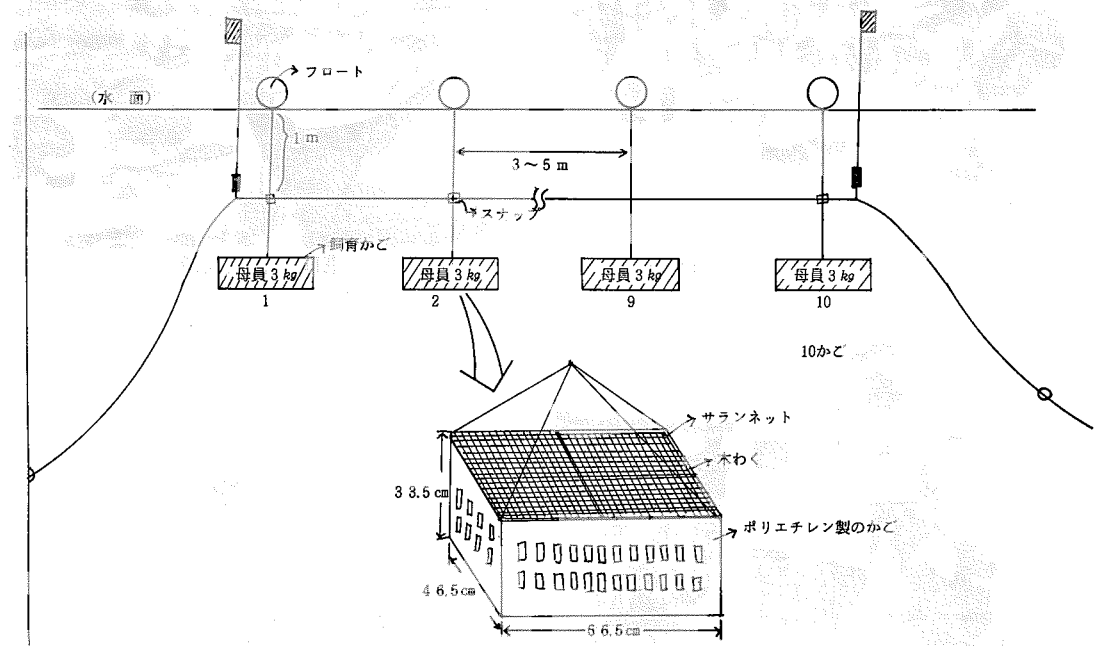


図1 バイ飼育施設

移殖結果

ウスイロバイ 2,652個体から無作為に抽出した殻高組成を図3に示す。殻高範囲は31.4～53.6mmでピークは38.0～39.9mmに見られる。

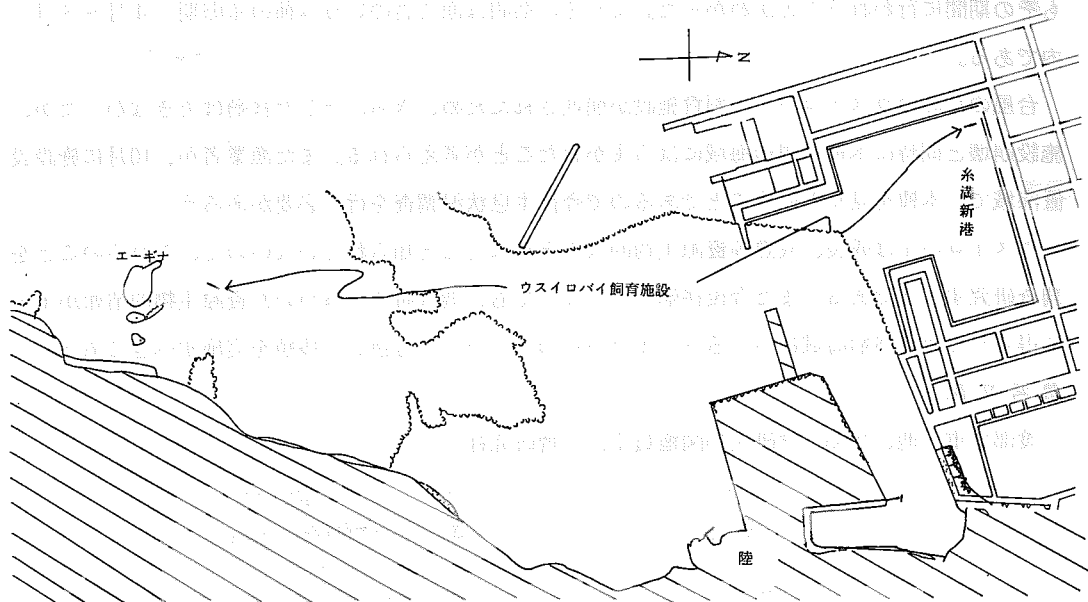


図2 バイ飼育施設設置場所

糸満新港内において、飼育かご1、2、3、4、5、6、7番にウスイロバイの卵嚢の付着がわずかに見られた。この港内では、かごの汚れがひどいので飼育かごをエーギナ島海域に移した。6月にはいままで卵嚢がついていなかった3、9番のかごに卵嚢がわずかに付着していた。7月には1、2番のかごには卵嚢の付着があったが、3～10番のかごには付着がなかった。

8月の台風によって、飼育施設は崩壊された。その後バイかごを11月に3、翌年1月に20かごを投入し、夜間潜水観察も行ったがウスイロバイを漁獲、観察することができなかった。

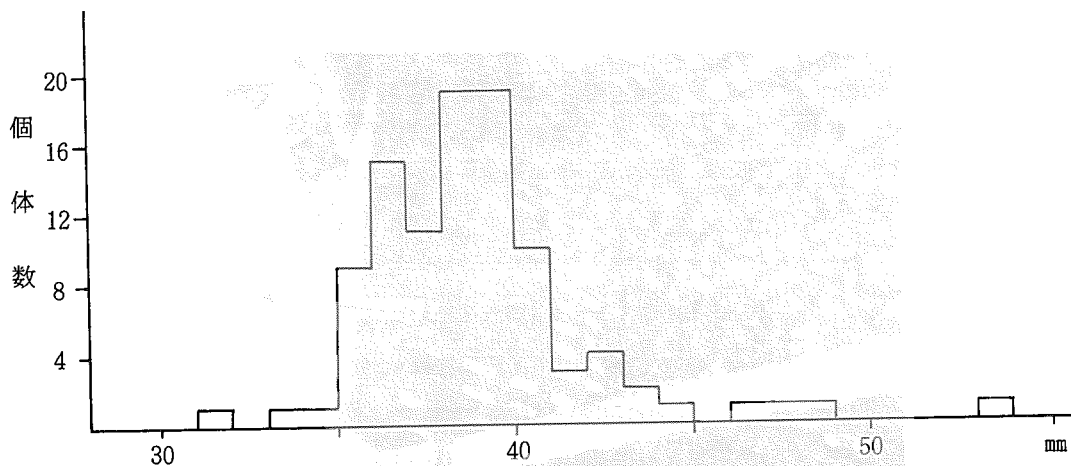


図3 ウスイロバイ殻高組成

今後の対応

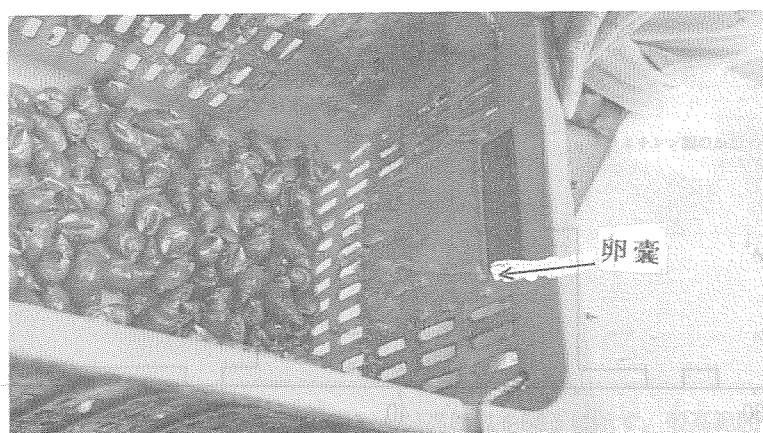
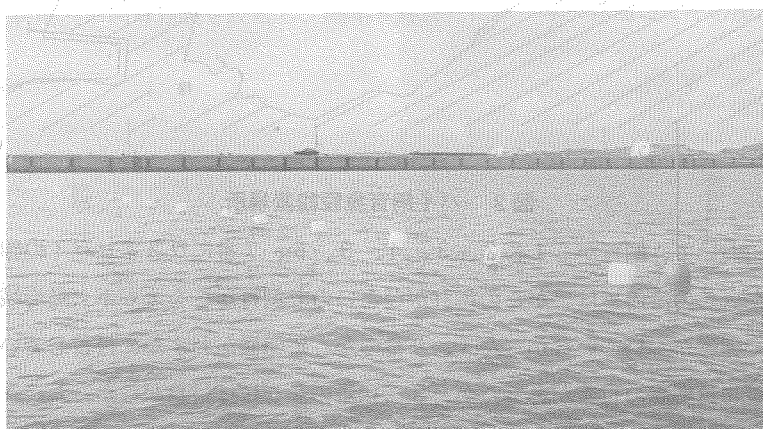
ウスイロバイの卵嚢が5月～7月に飼育かごに産みつけられたことから本種の産卵が、少なくともその期間に行われることがわかった。またその期間は漁業者のいう本種の産卵期（4月～8月）内である。

台風のためのウスイロバイの飼育施設が崩壊されたため、きちんとした移殖はできなかったが、施設崩壊と同時に本種が周辺海域にばらまかれたことが考えられる。また漁業者が、10月に施設設置海域で、本種を見たということであるので今後生息状況調査を行う必要がある。

ウスイロバイは成長、成熟等資源生物的なことがほとんど知られていないので、これらのことを調査研究すべきである。また今後移殖を行うにしても、調査研究に基づいた資源生物的情報が十分に得られた後に移殖海域におけるウスイロバイのニッチェを考慮して移殖を実施すべきである。

参考文献

渡部忠重 他、1983：学研生物図鑑Ⅰ．学習研究社



かごに産みつけられたウスイロバイの卵嚢